

■佐々成政 武將。信長支えて越中を支配も、秀吉覇権の犠牲となり、前田利家の加賀藩支配で“非道の暴君”に。

さっさなりまさ

・ ・ ・ ・ ・ 1539 = 尾張国春日井郡比良城主佐々盛政の子に生まれ、

鉄砲伝来 ・ ・ 1543 = 4歳 :

客分としていた学者・千田吟風に師事して兵法・故事等を学び、

長兄・次兄が織田信秀に仕えていたことから、

上杉謙信登場1548 = 9歳 :

ザビエル来日1549 = 10歳 : 織田信長の小姓となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1554 = 15歳 : 父が死去。

大陸邦民事件1555 = 16歳 : 信長への逆心の風評が立てられたが、

・ ・ ・ ・ ・ 1556 = 17歳 : 次兄が討ち死にした尾張稲生の合戦で、敵将の首を討ち取る軍功を上げた。

・ ・ ・ ・ ・ 1557 = 18歳 :

大友府内開港1559 = 20歳 : 前田利家が些細な事で茶坊主を処罰しようとしたのを諫める。

桶狭間の戦い・1560 = 21歳 : 先陣を務めた長兄が討ち死にしたため、従軍後、家督を相続して信長の馬廻衆となり、

大村長崎開港1562 = 23歳 : 嫡子が誕生。

大村純忠受洗1563 = 24歳 : 軍功を上げて信長に褒められる。

・ ・ ・ ・ ・ 1566 = 27歳 :

岐阜築市楽座1567 = 28歳 : *黒母衣組筆頭となって以後、信長の忠実な側近として厚い信頼を得る。

織田信長入京1568 = 29歳 :

浅井長政との戦をはじめとして連戦する一方、城砦の建設や講和の使者なども務め、

室町幕府滅亡1573 = 34歳 : 朝倉義景を攻略、

長島一揆鎮圧1574 = 35歳 : 嫡子が戦死。信長に建言してかえって褒められる。

長篠の戦い・ ・ 1575 = 36歳 : *<一向一揆を鎮定>して、越前国府中が与えられ、“府中三人衆”の一人となった。

近畿方面で連戦後、

石山合戦終り・ 1580 = 41歳 : 越中国の戦の指揮を命じられて入国、富山守山城に移る。常願寺川の氾濫に遭遇して、“佐々堤”を築造。

バリエール謁見 1581 = 42歳 : 新川・礪波2郡を与えられ、鮎河を改修して富山城を浮城としたり、新田開発に努めながら、

本能寺の変・ 1582 = 43歳 : *上杉景勝攻めの先頭に立って魚津城・富山城を陥れ、越中一國を支配するも、直後に信長が殺される。

賤ヶ岳の戦い・ 1583 = 44歳 : 豊臣秀吉の信頼を獲得し、朱印状を受け取って名実ともに越中を掌握。他方、

長久手の戦い・ 1584 = 45歳 : 嚴冬のなか立山山脈を横断往復するという危険を冒してまで、浜松にいた徳川家康を訪問、小牧・長久手の

戦に呼応して挙兵し、加賀の前田利家と戦い、能登の末森城で歴史に残る激戦をするが、

豊臣秀吉の軍に攻められ降伏、越中国新川郡に移される。秀吉のお伽衆を務めて信頼を獲得し、

秀吉太政大臣1586 = 47歳 : 従四位下・侍従に叙任される。

バテレン追放令 1587 = 48歳 : 秀吉の九州攻略のち、球磨・天草両郡を除く肥後国の領主に任ぜられると、同年菊池郡隈府の城主隈部

親永ら多くの国人の反抗にあい、筑前の小早川隆景・筑後の立花宗茂らの援助でようやく鎮圧。秀吉にこの

失政を責められ、安国寺恵瓊らの助命運動も空しく、

刀狩海賊取締1588 = 51歳 :

摂津の尼ヶ崎で、*切腹させられた。